

消防

冬本番 火災に備えましょう

万が一の時のために知っておきたい正しい対処法とは

いざという時のために

消火器の使い方

市内の公道に面した場所に、街頭消火器が設置してあります。日頃から近隣の街頭消火器の位置を確認しておきましょう。

①消火器を運び、安全ピンを上引き抜きます



②ホースを外して火元に向けます



③もう片方の手でレバーを強く握って消火剤を噴射します



☆消火器をチェックしよう

狛江市内には、公道に面した場所に街頭消火器が設置されています。木材・油・電気などすべての火災に対応可能で消火能力が高いことから、比較的安全に初期消火を行うことができます。自宅近くの街頭消火器を確認したり、防災イベントなどの初期消火訓練に参加し、消火器の取扱いを体験しましょう。また、消火器を自宅に置き、火災に備えましょう。

119番通報について

119番通報は、近くにある消防署に電話が繋がるわけではなく、災害救急情報センターに繋がります。

通報時には次のようなことを尋ねられます。万が一通報することになった場合に備えて覚えておきましょう。

火災の場合

- 火事ですか、救急ですか？
- 何市〇〇(町名等)何丁目何番地何号ですか？(あなたは今、安全なところにいますか？と聞く場合もあります。)
- 何が燃えていますか？
- 逃げ遅れた方や怪我をしている方はいますか？

救急の場合

- 火事ですか、救急ですか？
- 何市〇〇(町名等)何丁目何番地何号ですか？
- もしよろしければ、あなたのお名前と電話番号を教えてください(現場に向かっていない救急隊から、あなたに電話がかかってくる場合もあります)。

耳が不自由な方が119番通報する方法

東京消防庁では、FAXを使用して通報する「119番ファックス通報」や携帯電話などからインターネットを使用して行う「緊急ネット通報」が行われています。詳細は、東京消防庁ホームページをご覧ください。

東京消防庁ホームページ

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/topics/119/>



QRコード



初期消火について

火災の被害を最小限にするため、初期消火は非常に重要ですが、熱気や煙により負傷する危険があるため、細心の注意が必要です。

☆初期消火の方法

- ① 消火器を使用する
- ② 濡らしたタオルやシーツで覆う
- ③ 水をかける

※天ぷら油に水をかけることは厳禁!!

☆初期消火をあきらめて避難するタイミング

次の状況になったら、迷わず屋外の安全な場所へ避難してください。

- | | | | |
|--------------|------------|------------|------------|
| ① 炎が天井に届いている | ② 煙が多く息苦しい | ③ 煙で何も見えない | ④ 強い熱気を感じる |
| | | | |

万が一、自宅で火災が発生したときや火災を発見したときに、どのような対処をすればいいでしょうか。初期消火、119番通報のポイント、消火器の使い方をご紹介します。

自宅等で火災が発生したら

- ① 姿勢を低くして煙を吸わないようにしながら屋外までの避難路を確保しましょう。
- ② 「火事だ!」と大きな声で近隣に火災を知らせ、助けを求めましょう。このとき119番通報を他の方へお願いできる場合は依頼しましょう。
- ③ 初期消火ができる場合は、初期消火を行いましょう。

外出先で火事を見かけたら

- ① 「火事だ!」と大声で近隣に火災を知らせましょう。
- ② 119番通報しましょう。
- ③ 可能であれば、初期消火を行いましょう。
- ④ サイレンが聞こえたら、消防隊を案内しましょう。
- ⑤ 家の中に大切なものがあっても絶対に戻らず、消防隊の到着を待ちましょう。

(「初期消火について」参照)

(「119番通報について」参照)



住居表示

② 119番通報しましょう。住所が分からない場合は、電柱の住所表示、ない場合は、近くの店の名前などを伝えましょう。

